内訳書変換ツールの使用について(試用版)

・「いばらき電子入札共同利用」のページから、"**工事費内訳書通常版(例)**"又は"**工事費内** 訳書簡易版(例)"をダウンロードして開きます。

金額等を入力し,任意のフォルダ(例:「デスクトップ」-「内訳書」)に保存してください。



・「いばらき電子入札共同利用」のページから「内訳書変換ツール.zip」をダウンロードし、 解凍してください。(ZIP 形式)

※zip ファイルはパスワードで保護されています。パスワードは別途 E-mail でお知らせします。

解凍したフォルダから「提出用ファイル作成ツール」のフォルダを開き、「提出用ファイル作成ツール.xlsm」を実行してください。



・「提出用ファイル作成ツール」を開く際に,"セキュリティの警告"が表示された場合は, "コンテンツの有効化"を押してください。

中央にある「提出ファイル作成」を押します。

・ セキュリティの警告 一部のアクラィブ コンテンツが無効にされました。ケリックすると詳細が表示されます。 コンテンツの有効化	これを押します。
ABCDEFGHIS FGHIJKUMNO 1 提出用ファイル作成ツール 2 オットルは名類「工事専中的書(14時 提出用)」から、提出用「ロッパファイルを作成するツールです。	
3 ホーン・アルマン・アレーン・アレーン・アレーン・アレーン・アレーン・アレーン・アレーン・アレー	
0 0	
13 14 [注意] 本ツールを利用する際、別のExcelファイルを開いている場合は、全て終了させてください。 15 16 17	
18	

・「ファイルを開く」で、先ほど作成した工事費内訳書の Excel ファイルを指定します。 「開く」を押します。

					×
← → • ↑ <mark> </mark> « ₽	内訳書変換2 → 変換 → 3000万円以下	~ Č	3000万円以下の	検索	P
整理 ▼ 新しいフォルダ	_		[== -	?
H29発令 ^	名前 ^	更新	日時	種類	
ICカード登録情報	國 内訳書様式 (3000万円以下).xls	201	7/05/31 11:15	Microsoft Exce	el 97
📚 scan	▲ 内訳書様式 (3000万円以下) .x x	201	7/05/31 11:17	Microsoft Exce	el 7.
work					
仮提供_201705					
仮提供_201705. 執行管理ソフトt					
仮提供_201705. 執行管理ソフトt 千葉さん					
。仮提供_201705 。執行管理ソフトt 。 千葉さん 。 提出データ					
 仮提供_201705 執行管理ソフト5 千葉さん 提出データ 電子入札 					
 仮提供、201705 執行管理ソフトt 千葉さん 提出データ 電子入札 内訳書変換 					
仮提供、201705 執行管理ソフトt 千葉さん 提出データ 電子入札 内訳音変換					
 仮提供,201705 執行管理ソフトt 千葉さん 提出データ 電子入札 内訳書変換 P) また、 	د				
 仮提供,201705 執行管理ソフトt 千葉さん 提出データ 電子入札 内訳音変換 P) で+→ いへに 	< (ル名(№): 内訳書様式(3000万円以下).xlsx		Microsoft Excel	ブック (*.xis?)	~

・マウスポインタが一時的に **○**の表示になり,通常の矢印に戻ります。ここでエラーメ ッセージが表示されなければ成功です。

A	BCDEFGHIJKLMN0
1	提出用ファイル作成ツール
2	
3	本ツールは、各種「工事費内訳書(入札時 提出用)」から、提出用「.csv」ファイルを作成するツールです。
ł	以下の【ツール利用手順】に沿って提出用ファイルを作成してください。
<u>}</u>	レンニルベル田ナルロ 工事連携の記録まに必要本価を記入し、「提供田ワッイル作成」だないを地下します
	エテルに向いるシスティンには、システムになっていたのかがあった。
0	提出用ファイル作成
1	
2	
3	「注音」ナッニルを利用する際、別のちょっっワッイルを問いている根本は、本て数マさせてノださい。
5	「江海」本ノールで作用するは、別のこはピノナイルではいている場合は、土し家」でとしてたらい。
6	
7	

・先ほど工事費内訳書を保存したフォルダを開き、ファイル名の拡張子が「~.csv」というファイルが作成されていることを確認してください。



<参考>

・変換ツールで作成したファイルを復元する方法

受注者側では必要はありませんが、変換作業で正しく変換されたかは確認できません。

そこで、念のために確認したい場合は、発注者が使用する変換ツール「提出用ファイル復 元ツール」で、(~.csv)ファイルを Excel に復元できます。

復元ツールは、先ほど解答したフォルダに含まれます。「提出用ファイル復元ツール」の フォルダを開き、「復元ツール」を開きます。



・このメッセージが出る場合は「コンテンツの有効化」を押してください。



・画面中央の「提出ファイル復元」を押してください。



・「ファイルを開く」で、先ほど作成した変換後の「.csv」ファイルを指定します。 「開く」を押します。

★』 ファイルを開く	×
← → ▼ ↑ _ ≪ 内訳書変換2 > 変換 > 変換	▼ ひ 変換の検索 ク
整理 ▼ 新しいフォルダー	
PC マロッ マロッ マロッ ダウンロード 「「「」 ロ の マロッ マロー マロー	
 □ □<th></th>	
 ▶ ミュージック ニーカル ディスク (C 	
 ■ ホリューム(LX) ■ 検査指導課 (¥¥fi ■ ネットワーク 	
▲ # + r /m - + ・ × < ファイル名(N): 内訳書work.csv	>

・マウスポインタが一時的に 〇の表示になり、通常の矢印に戻ります。ここでエラーメッセージが表示されなければ成功です。

	A B	С	D	E		F		G		н		I		J		к		L		м	NC	Р
1	提	出月	日フ	アイ	ル復	元じ	/—J	2														
2			-				-															
3		本	ール	は、名	種「工	事費内]訳書(入札日	寺 提는	出用)	」の提	出用	[.csv]	ファイ	ルを	复元す	るツ	ールで	す。			
4		以下	の【ツ	ール禾	旧手順	則に氾	ふてフ	アイル	を復元	もして	くださ	い。										
5																					_	
6		19-	ル利	用手順		- -	ha state		++	C)			1								
/			「徒正	田フア	1ル1F. I下後:	かけか ウマイエ	メノを指 山澤現i	甲下しる	ます。 いまデコ	th a	त											
9			~ /	///11	1 18.	23.17			. 16/10	-110	690											
10									tB H			復二	1									
11									1/E [L	чл.,	0.40											
12																						
13								_														
14		し注意	3」本	ッール	レを利用	目する	際、別	ர Ex	celファ	イル	を開	אמי	る場	合は、	全て	終了	ਰਦ-	$C < \pi$	さい。			
15																						
17																						
18																						
19																						
20																						
-	Þ		提出	用ファイ	レ作成ツ	-1L	+)									3	4				
淮馮	<u> </u> 7	98																			E	

・先ほど工事費内訳書を保存したフォルダを開き、ファイル名の拡張子が「~xls」というファイルを開いてください。

名前	更新日時	種類	サイズ
(1) 由把 书 ————————————————————————————————————	2017/05/31 13:44	Microsoft Excel CS	31 KB
國 内訳書work.xls	2017/05/31 14:41	Microsoft Excel 97	56 KB

・最初に作成した工事費内訳書に近い形で復元されていれば問題ありません。

d II.	ABCD		F		F	G	н	T	.1	K
Ē	T 事 報 号	00-0	0-00	00-0-000		<u> </u>	会社名:			
ľ		<u> </u>					2411 11 1			
P	工事区分 エ	種 種別	細別	<u></u> 担 松	数量	単位	単価	全額	摘更	1
ľ		12 12/01	440.000	79610		<u>т</u> ш		312 82	101.32	
2	首路改良									
ľ										
ľ										1
T	道路十工									
1	~									
t										1
T	掘削工									
Г										
1	掘削									
T										
T	掘	IJ			870	m3	500	435000		
ľ										1
	路体盛日	I								
1										